

がん薬物療法計画指示書（肺癌）

主治医（指示医） _____

指示日 年 月 日

レジメン名称 CBDCA + PEM + BV 療法

【1クールの日数 21日】

1. 治療予定期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

・実施クール () クール目 / 6クール

なお、アバスチン併用療法終了後、アバスチン単剤投与を継続して下さい。

2. 患者情報 診断名 (扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)

身長 _____ cm 体重 _____ Kg 体表面積 _____ m²

年齢 _____ 歳 sCr _____ mg/dL GFR _____

3. 使用薬剤・投与量

CBDCA 投与量 () mg/body = AUC × (GFR+25) ; $GFR = \frac{(140 - Age) \times 体重}{sCr(mg/dL) \times 72}$

女性の場合は体重に 0.85 を掛ける

薬剤名	用量	実投与量 (mg)	投与方法	輸液
①アバスチン (100mg : 400mg)	15mg/kg	mg	d. i. v.	生食 100mL
②ペメトレキセド (100mg : 500mg)	500 mg/m ²	mg	d. i. v.	生食 100mL
③カルボプラチン (50mg : 150mg : 450mg)	AUC=5	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL

4. 投与レジメン

ペメトレキセド投与による重篤な副作用の発現を軽減するため。

フレスミン S 注射液 i. m.	初回投与 7 日前 (/) 以後 9 週毎 ()	パンビタン末 1g 1×	初回投与 7 日以上前から連日投与 (/ ~)
-------------------	--------------------------------	--------------	-----------------------------

フレスミン S 注射液及びパンビタン末はペメトレキセドの投与中止または終了する場合、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

投与日	投与時間	薬剤	指示受け確認	実施	Dr. 確認
Day1 (/)	全開で	生理食塩液 50mL div. (プライミング)			
	※90・60・30min	生食 100mL + アバスチン _____ mg div.			
	30min	グラニセトロン点滴静注液 3mg バッグ + デキサート 6.6mg div.			
	10min	生食 100mL + ペメトレキセド _____ mg div.			
	1 hr	5%ブドウ糖 250mL + カルボプラチン _____ mg div. (遮光保存)			
CBC・生化学検査は投与日の (前日・当日朝)					

※ ただし、アバスチンの投与時間は初回投与は 90 分間かけて点滴静注して下さい。初回投与時の忍容性が良好であれば、2 回目の投与は 60 分間にすることができ、さらに 2 回目投与時の忍容性も良好であれば、それ以降の投与は 30 分間にすることができます。